

令和6年度第1回花巻市立図書館協議会 会議録

1 開催日時

令和6年7月22日（月） 午前10時～午後12時15分

2 開催場所

花巻市立花巻図書館 会議室

3 出席者

(1)委員（11名）

浅沼清智委員、小田島圭委員、堀合範子委員、高橋和也委員、
中里美香委員、内村悦子委員、熊谷恵委員、坂本知彌委員、
佐藤三恵子委員、菅原元委員、白岩拓樹委員

(2)事務局（7名）

菅野生涯学習部長、鈴木花巻図書館長、伊藤大迫図書館長、
辻村石鳥谷図書館長、菅東和図書館長、高橋新花巻図書館計画室次長、
大森石鳥谷図書館主査

4 欠席者

1名（高野橋加子委員）

5 傍聴人

1名

6 議題等（議事録）

◎会議成立の報告（鈴木花巻図書館長）

- ・委員12名のうち11名出席。出席委員数が構成委員の過半数を超えているため、花巻市立図書館協議会規則第7条により、本会議が成立することを報告。

1 開会（辻村石鳥谷図書館長）

2 部長あいさつ（菅野生涯学習部長）

本日はお忙しい中、花巻市立図書館協議会に出席いただきましてありがとうございます。

ざいます。委員の任期が始まって最初の会議となりますが、2年間どうぞよろしくをお願いいたします。

さて、図書館の入館者数ですが、今月に入って宮沢賢治記念館やイーハトーブ館のこういった審議会等出席してきましたけれども、やはりここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で入館者数がかかなり減っておりましたが、昨年5月の5類感染症への移行により、徐々に回復してきたというのは図書館も同様でございます。ただ、図書館の貸出冊数につきましては、コロナの期間、利用者の方々には大変ご不便をかけたこととは思いますけれども、大きな落ち込みはあまりなく、ある程度の数はキープできたのではないかと捉えてございます。

この後、最後に新図書館の検討状況についてご説明いたしますけれども、この図書館がかかなり老朽化しているというのはご存知のとおりです。ちょうど明日、午前9時から午後1時まで2階のエアコン1台を更新するために臨時休館をいたします。まだ新図書館が建つまでにはちょっと時間がありますので、現在の図書館についても利用者の方にご不便をかけないようにいろいろケアして進めてまいりたいと思います。

また今年度は、これまで図書館に来る機会がなかった市民にも足を運んでいただけるといふことで、新しいイベントを企画してございます。8月には生涯学習課と共同で夜の朗読会を開催いたしますし、9月には打楽器やフルートなどを使いながら、音楽と絵本を楽しむイベントも企画しております。こういったものが新たな利用者の開拓につながればと思っております。

本日は、令和5年度の事業報告と令和6年度の事業計画についてご協議いただきますけれども、委員の皆様から様々なご意見をいただきまして、図書館のより良い運営につながればと思っておりますので、忌憚のないご意見をいただければと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 会長及び副会長の選出

- ・会長に坂本知彌委員、副会長に熊谷恵委員
(花巻市立図書館協議会規則第5条による互選)

4 議題(図書館協議会規則第6条により、会長が議長となる)

(1) 令和5年度花巻市立図書館事業実績等について

- ・令和5年度花巻市立図書館の事業実績について、各館から説明

花巻：鈴木館長、大迫：伊藤館長、石鳥谷：大森主査、東和：菅館長

(質疑)

(○坂本会長)

ご質問等ございませんでしょうか。中里委員さん。

(○中里委員)

各館でコロナ明けから施設見学と職業体験をまた続けてくださってるのでありがたいなと思ってます。本当に実際に見たり、図書館の人の仕事を見れるっていうのはすごくいい機会だと思うので、またこれからも続けていただきたいと思います。

そして、質問ですけれども、高校生や大学生が就職がもうちょっとリアルに目の前に来たときに、図書館の仕事を見てみたいなって思ったときには、個人的に見学なりすることはできますでしょうか。そして、それは何かホームページとかに書いてありますでしょうか。

(○鈴木花巻図書館長)

相談いただければ、こちらの業務の都合には合わせていただくかとは思いますが、お話を聞いた上で、そういった対応はしたいと思っております。ただ、それに関してホームページ等には書いてはおりません。先日も、社会教育主事資格の勉強をされている方から、花巻図書館で実習をできないかというご相談がありました。ただ、その方は東京方面の方でしたので、いろいろお話して最終的にはやめますという話になりました。

(○中里委員)

希望があってこっちから聞いてみれば、受け入れることもできますっていうことですか。

(○鈴木花巻図書館長)

検討したいと思います。

(○中里委員)

あとすいません、もう一つ私の感想になるんですけども、少し前に東和図書館に行ったときにオードリー・ヘップバーンの写真集とかがいっぱいありまして、私まだ美術館の方には見に行っていなかったんですけども、図書館に並んでたのを見て、やっぱり行こうっていう気持ちになったので、美術館と連携して展示してるってこういうことなんだなって思って、いいなと思いました。

(○坂本会長)

東和さんは特に美術館がすぐそばなので、原画展なんかだと本を準備していらっシャったりして、すごくいいですよ。他にございませんか。

(○菅原委員)

一つ教えていただきたいんですけども、2ページの入館者数の推移ってあ

りますが、この入館者っていうのはどのような形で計測されてるのかなど。昔はカードか何かで、色でこうやったような記憶があるんですが、今はないので、どのような計測をされてるのでしょうか。

(○鈴木花巻図書館長)

各館の入口にセンサーでカウントする機械がついておりますので、その機械で数えております。

(○菅原委員)

そうすると出入口のところで、私が入ればカウントされているということですね。

(○鈴木花巻図書館長)

はいそうです。

(○菅原委員)

わかりました。自動化されているということですね。

(○坂本会長)

他にはございませんか。

(○堀合委員)

今、学校図書館に掛け持ちのような形で図書館支援員さんが配置されていると聞いておりますが、その予算というのは市の方ではなく委員会でしょうか。

(○鈴木花巻図書館長)

はい。学校図書館司書の予算は教育委員会の方でございます。

(○堀合委員)

それから、昨年、新図書館に向けて今廃棄を進めているというお話がありましたが、1万冊くらい買って昨年より1万冊くらい減っているということは、実質2万冊くらいは廃棄しているということでしょうか。

(○鈴木花巻図書館長)

廃棄の数字は手元にはございませんが、お察しのとおりだと思います。

(○坂本会長)

他にはございませんか。

(○菅原委員)

2ページの1-4の1-3でしたか、貸し出しのところで個人というふうになって、団体貸出数というふうにお話を館長さんの方でされましたが、団体貸出数っていう定義は何でしょうか。教えてください。

(○鈴木花巻図書館長)

基本的に皆さんや私が図書館を利用する場合は、個人として利用するわけで

すが、小中学校や幼稚園、保育園等には団体として利用者登録をしていただきまして、学校文庫とか幼児文庫という方法で、30冊とか50冊とまとめて貸出しをしておりますし、図書ボランティア団体の方にも団体として貸出しをしております、そういった方々の利用が団体貸出数となります。

(○坂本会長)

他にはありませんでしょうか。それでは次に移らせていただきます。

令和6年度花巻市立図書館運営方針及び事業計画についてお願いします。

(2) 令和6年度花巻市立図書館運営方針及び事業計画について

- ・令和6年度花巻市立図書館運営方針について、鈴木花巻図書館長から説明
- ・令和6年度花巻市立図書館事業計画について各館から説明

花巻：鈴木館長、大迫：伊藤館長、石鳥谷：大森主査、東和：菅館長

(質疑)

(○堀合委員)

基本方針の中に、全ての花巻市民を対象にとあるわけですがけれども、先日、文化会館で県の公民館大会等がありました。メインテーマは障がい者も包括した生涯学習の推進というふうな中身が多かったと思いますけれども、その市立図書館の中にやはり花巻市の方針としてそういった障がい者のニーズとといいますか、障がい者の生涯学習の充実に図書館が寄与するというふうな、何かそういった文言が一つあってもいいのではないかなという気がしました。

この運営方針というのは、やはり図書館の最も根幹とといいますか、そういったものですので運営方針に掲げて何かできそうなことから取り組んでいく。例えば、施設にそういった展示本を貸し出しするとか、あるいは弱視の方とかいたら読み聞かせ等も行いますとか、できそうなところをですね。こちらに来ていただくというのはかなりハードルが高い部分もあるかもしれませんが、そういったようなところが障がい者と高齢者にやさしい花巻というそういうものを皆さんにアピールする意味でも、あればいいなという感じがしました。

(○鈴木花巻図書館長)

ありがとうございます。おっしゃられるとおりでございます、全ての花巻市民を対象にというのは、もちろん障がいのある方もですし、図書館に来づらい方も全てというふうに捉えております。ただ現状といたしましては、施設的にはバリアフリーにどうしてもなり切れない構造になっておりますし、エレベーターがないとかですね、そういうのもございますので、おっしゃられるとおりできるところからやっていきますとしか今のところ申し上げられません。

それから、読書のバリアフリーという考え方からも、どんな方にでも読んでいただくとか、聞いていただけてもいいわけですが、触れていただく機会を作っていくということも正直なかなかできていないというのが現状です。

新図書館に向けて、と言ってしまうのは簡単ですが、今の花巻図書館の中で何ができるのかということは、常に考えていかなければならないと思っておりますので、オーディオブックとかいろいろな形で、目の見えない方、耳の聞こえない方、ここに来づらい方、自分の手で本を持って読めない方、そういった方々、全ての人に、いろんな形で届けるという意味での基本方針ではあるんですが、実態がそこまでいってないのは、おっしゃっていただいたとおりですので、できることを一つ一つ見つけ出してやっていこうと考えております。

ただ、堀合委員さんに言っていただいたように、それを思っていますと言っても、今私が言っただけで、この運営方針では伝わらなかったってということだと思います。ここに書いてないので。なので、来年度以降そういったことを明確に書くことによって、できることをやっていくという姿勢を示すのはもしかしたら必要なのかなというふうに今お聞きして感じましたので、検討させていただきたいと思います。

(○坂本会長)

はい、ありがとうございます。もうちょっと広げて、社会福祉協議会福祉センターとここは今のところは近いので、向こうには点字の国語辞典とかそういったものもあるんですね。だからそういったことを連携していくっていう方向も必要かもしれないですね。やっぱり障がいのある方は福祉センターにいらっしゃることは多いので、そのときに図書でこの部分読んでほしいなんていうようなことがあったら対応はできるのかなと。できるところから考えていただければと思います。

他にはありませんでしょうか。はい、白岩委員さん。

(○白岩委員)

白岩といいますよろしく申し上げます。

図書館運営方針で、基本方針が三つあります。地域を支える情報基盤と生涯学習の拠点と知的資産の保存施設と。これ三つ、コンパクトな言葉で短くてすごく素晴らしいなと思って、新花巻図書館もそうなればいいなと思ったんですけど、重点目標に行くと知的資産の保存があんまり書いてないっていうか、薄めになって、あと地域を支える情報基盤もあんまり何か薄い感じになってるので、基本方針と重点目標はちょっと乖離してるのかなという印象があります。

私は花巻の文化の中で、一番の弱点は、総合的な情報交流設備というか、拠点、例えばいろんな講座なりイベントなり文化情報なりの学びの情報が集約されていて、市民が情報を得ることができるという場所がないんですよね。それを何年も前から訴えて、その延長として新花巻図書館に関わっているんですが、まなび学園とかなはんプラザとかいろんな場所にチラシを置いてあるんだけど、それでも片手間で、全然全て網羅してないんですよね。紫波町図書館に行くとか情報発信コーナーっていうのがあって、そこ行くとすごくいろんな講座とかあって、私そっちの講座の方に行ってて、紫波町とか。花巻でも素晴らしいことやってるんだが、わからないと外に出ちゃうんですよね。だから私も花巻じゃなくて盛岡とか、紫波町の講座とかイベントに行くんです。だからもっと情報発信拠点というか、花巻図書館は物理的に狭いので難しいと思うんですけど、それをもっと現段階から何とか工夫してほしい。

あと、知的資産の保存で、今回私達のグループで花巻図書館 50 周年記念誌というのを作ったんですが、なかなか資料がないんですよね。図書館さんにもないっていうし。いろんな方から随想文とかいただいて、それを載つけた形になってます。私、花巻史談会っていうのに入ってまして、そこもかなり高齢の方が増えるばかりで後継者がいないんで、なかなか若い方というか、私、還暦なんですけど、私が一番年下で、若い方が歴史とか文化を継承するのがなかなかできてないというか、すごく危機感を感じています。だから図書館で知的資産の保存施設というのをすごくやってほしいなど。今現在、実際に図書館さんの方では近現代史とか歴史とか、そういうのを記録したりとか、集めたりするというのは具体的にどういうことをやっているか質問として教えていただきたいと思います。

(○鈴木花巻図書館長)

白岩さん申し訳ございませんが、今おっしゃった図書館として記録しているというのはどういうことでしょうか。

(○白岩委員)

収集してるかどうかわかりませんが、図書館さんの方で何か収集してるのか記録集めてるとか、そういう具体的なことを何かされてるのかなと思って。

(○鈴木花巻図書館長)

それは歴史的な価値があるようなものということでしょうか。

(○白岩委員)

知的資産の保存施設って書いてありますから、どういうふうにして、その意味というか、どういうふうにしてしているのかということです。

(○鈴木花巻図書館長)

例えば郷土資料とかですね、花巻に関わる資料に関しては、そういったものがあるのがわかれば、図書館が所蔵するのが適当だと思われる資料に関しては収集しております。ただ、中には博物館の方で所蔵した方がいいということもあるので、その場合は博物館の方にお話をすることもあります。特別に花巻に関する歴史的な資料をこちらから探しに行っているというわけではないです。

(○白岩委員)

例えばですね、図書館さんの方で生涯学習の一環として地域史をみんなで集めて何かを作るとか、そういう積極的な活動というのはしてないということ、あくまでも寄贈とか、そういうのがあれば受け入れるとかをしているという、そういうのを知的資産の保存施設というのであれば、それは普通に図書館のやることだから、三大基本方針に入っているのであれば、もっと積極的にやってみるものかなと、単純に市民として思ったということです。大体わかりました。

(○鈴木花巻図書館長)

今おっしゃっていただいたような、若い人たちが花巻の文化とか歴史とか、そういったところから離れていっている。興味を持っている人が減っているというお話を今伺いましたので、図書館として、何かそれに関係するようなことができるのかというのは検討するというのにはありだと思いますので、ご意見として参考にさせていただきたいと思います。

それからもう一つ、最初におっしゃっていただいた情報の拠点という部分ですけれども、これもおっしゃっていただいたとおり、どうしても花巻図書館に関しては非常に狭くてですね、いろいろな情報が集まってくる情報コーナーのような、ここに来ればわかるというような場所にしたいというのは私も全く同じように思います。ただ、スペースの都合という言葉で片付けざるを得ないというのが現状ですので、今の時点ではできる範囲で取り組んでいきたいと考えております。

(○堀合委員)

4館とも本当に素晴らしい企画をたくさん行っているなと思っています。それでお願いですが、もっと外部に対してPRをしてはどうかという気がします。私は朝新聞を読みますが、他の市町村の図書館のニュースがたくさんあります。見ると花巻もこれやってる、これもやってるっていうのがいっぱいあるんです。ですので、新聞とかテレビとか、今やっていることがとても素晴らしいことをやっているわけですので、ぜひ遠慮せずといいますか、マスコミに情

報発信して、元気な花巻を発信していただきたいなって、そのことが私達市民の元気にも繋がるような気がしますので、ぜひお願いいたします。

(○坂本会長)

そうですね。ネーミングも素晴らしいじゃないですか。夏休みの宿題お助け本なんてこれ保護者が読んだら行ってみたいくなります。

それから東和さんですけど、表紙の色で選ぶ本これ、どのようなことなんでしょうか。聞いていいですか。

(○菅東和図書館長)

表紙の色で選ぶ本展ということで今年の企画、11月2日から12月1日の予定ですが、詳細はちょっと聞いておりませんが、いろいろ表紙の色合いというものがあると思うんですけど、それに焦点を当てた例えば空色とかブルーの体裁のもの本とか、そういうものをピックアップした展示になるのではないかと考えております。

(○坂本会長)

何だかわからないので行ってみたいになりました。本当に外に向けてPRをしていただければいいだろうと思います。

(○鈴木花巻図書館長)

PR方法をいろいろ考えてまいります。

(○白岩委員)

私はホームページを結構見ている、ホームページから検索したりするんですが、花巻の場合は二つあって、花巻市のホームページにある図書館情報と花巻図書館自体のホームページと二つあるんです。詳しい内容は花巻市のホームページの方に載ってるんですが、非常に見づらい。一つの画面にいろんなクリックする項目があって、全体が把握できてクリックしていくんだったらわかるけど、花巻市の場合は、1ページ1ページめくらないとわかんないんですね。下に花巻市役所の住所などいろんな余計なものが入ってて、1ページ1ページ見ないとわかんないような感じになってる。だから、花巻図書館自体のホームページがあるんだから、そっちの方で、1ページ目を全体がわかりやすくするようなデザインとかしてやればすごくわかる。私は結構ホームページを見ているんですがすごく見づらくて、それで結構見逃すってことがあって、こういう良いイベントをやったんだなって後から気付くことが多い。私すらそうなので、他の方とかはもっと見づらいんじゃないかなと。

もう一つ質問なんですけど。例えば、令和6年度の事業をこういう風にしてほしいなという希望とかは、もう既に令和6年度になってからはもうできない

んだと思うんですけど、令和6年度の事業は3月ぐらいにもう決まって、もうその1年はできないのか、後半にする余裕があるのかどうかというのを教えていただきたいんですけど。

(○鈴木花巻図書館長)

事業によります。例えば企画展示などであれば、何か良いテーマがあれば対応することは可能だと思いますが、みんなでライブラリーなどの講座は、予定を立てて、費用なども検討して年度に入っていますので、新たには対応できないこともあります。新年度になってからは全く対応できませんってことばかりではないです。

(○白岩委員)

予算の関係はあると思うんです。以前、4年ぐらい前に石鳥谷図書館さんでビブリオバトルというのをやって、僕も出たんですけど、利用者が受身じゃなくて利用者も発信できるというようなやつで、この前花巻の中央地区で歩行者天国とかのイベントがあって、私達関係者で1箱古本市、1箱のダンボールに自分の本を持って持ち寄って店舗を作ってやるというのをやったんですが、そのときに推し本紹介があって、それぞれの店主が自分の好きな本を推し本として紹介するのをやったら結構みんな集まってきて、そういう、本を通してコミュニケーションできるというのもやってほしいなど。お金が多分あまり掛からないのであれば、そういうのも提案したいし、やってほしい。そういうものもできる可能性あるんじゃないかなと思って、そういうのを希望したいと思います。以上です。

(○鈴木花巻図書館長)

はい、ありがとうございます。2日間旧まちなかビジターセンター前で開催したイベントですよね。主催者の方からこちらにも声をかけていただきました。花巻図書館としては参加できませんが、個人的には非常に気になっておりました。何かそういう取り組みは考えていきたいなと思ってはおります。ご意見ありがとうございます。

(○坂本会長)

それでは次に移ってよろしいでしょうか。

それでは3番の新花巻図書館の整備についての説明をお願いします。

(3) 新花巻図書館の整備について (説明・報告)

・新花巻図書館の整備状況について、菅野生涯学習部長から説明

(○坂本会長)

これに関してご質問はありませんか。

(○白岩委員)

先日、意見を集約するための方法を第三者、業者に委託するということが、そのプロポーザルの第1回の委員会があってですね、私傍聴しに行ったんですが、非公開ということになってですね、どういうふうに進んでいるかというのがわかんなくて、舵取りとかそういうのを全て丸投げするのかって言ってる人もいたり、すごく市民の受け取り方がバラバラです。そうではないですよって、市の方はおっしゃるんですが、やっぱり決定方式を丸投げしたんじゃないかと、行政はそれを放り投げたって思ってる方もいるんです。私は思っていないんですけど。今の説明ですと建設地が決まったときに初めて基本計画案を公表して市民参画をやるという話ですけど、いつ頃になったらある程度、プロポーザル方式なり、どういうふうに進んでいるかっていうのを公表できるのか、大体のめどっていうのを教えてほしい。経過とか進捗状況とか、今は公表できないから、この前みたいな非公開だったと思うんですけど。その辺のめどを教えてください。

(○菅野生涯学習部長)

会議の非公開につきましては、応募者をこういった形で評価しますといったことを話し合う会議でしたので、やはり表に出すには同じ時期に出さなければ不公平というものがございまして、審査方法とか評価の仕方ということは、会議を傍聴した方が先にわかるというのではなくて、一斉に公開するということが、非公開とさせていただきます。今後、審査をしてということになりますが、8月以降に契約者が決定し、そこから具体的にどのように進めていくかという協議に入りますので、8月末くらいにはこういった形で進めますということをお示しできるかと思えます。実際に市民の皆さんに検討していただくという場合は、先ほど申し上げたように、今やっている調査が10月半ばにしか終わりませんので、それ以降になるといった予定であります。

(○坂本会長)

それでは他にはご質問ありませんでしょうか。

次のその他に移りたいと思います。

(4) その他

(○鈴木花巻図書館長)

2点ほど、私の方から前回までにいただいた意見に関してのこちらの検討状況についてお話をさせていただきたいと思えます。今日初めての方もいらっし

やいますので説明も含めてお話をさせていただきます。

まず一つ目は、花巻図書館内に誰でも気軽に簡単に自分の意見を書いて入れられるご意見ボックスのような取り組みができませんかというご提案をいただきました。今年2月の協議会でご意見をいただきまして、4月に県の図書館協会の総会がありまして、その中で私の方から他の図書館の方々に同様の取り組みをしている例があるかと聞いてみました。その中で一関図書館では、開館した10年前からずっとやってらっしゃるということでしたので、5月に一関図書館に見に行ってみました。一関図書館では、利用者が申請書を書いたりするような場所にさりげなく紙と箱が置いてあって、誰でも気軽に入れられるような形でやってらっしゃいました。開館当初はやはりいろんな意見があったようですが、今では月に数件程度とのことでした。その意見は1ヶ月分をまとめて回答を作成して貼りだす形でお返事をしているということでした。ただ、花巻との違いとしては、一関図書館さんは年に1回のアンケート調査はしていないようで、アンケート調査をしてないからうちはこのやっていますとおっしゃっていました。

全館で一斉にというのはなかなか難しいと思いますので、例えば花巻図書館だけでというような形で、そういったご意見ボックスをですね、気軽に書いていただけるように2階それから1階に配置したらいいのかというふうに考えております。アンケート調査はこのまま継続していきたいと思っておりますが、もっと気軽にご意見やご質問をいただけるようにというのが趣旨だったと思いますので、それができないかなと考えております。今、市の方でGoogleフォームのような、スマホでQRコードを読んで、そこに書き込んで投稿するというものも利用が始まっていますので、そういった方法も使いたいと考えております。ただ、今の時点でいつから始めますというところまでは行っておりませんので、今の状況をお話させていただきました。

それからもう一つは、これも同じ協議会で頂いた意見ですが、花巻図書館の書庫1階は、閉架ではなく利用者に入っただけのところですが、一般閲覧室や子供室のように見やすい所ではないので、書庫の資料を石鳥谷図書館など分館に持って行ってもっと活用してはどうですかというご意見をいただいております。それに関して、その時にできる方法としてお話ししたのは、配送と言いまして各図書館の間で貸出や返却のための資料の移動がありますが、例えば、主に石鳥谷図書館を利用している方が花巻図書館にある本を借りたい場合は、花巻図書館から石鳥谷図書館に持って行って貸し出しをします。そしてその本が石鳥谷図書館に返却されればそれを花巻図書館に戻すんですが、それを

すぐに戻さないで、そのまま石鳥谷図書館に並べておけば、借りた方以外もその本に触れることが出来て有効活用につながるというものでした。この取り組みは「お出かけ本」という名前で3月から始めておりますが、4館合計で4月には421冊、5月には356冊、6月には420冊が、本来置いていないお出かけ先の図書館で借りられておりますので、続けていきたいと思っております。また、それ以外にももっと活用ができないのかというお話もありまして、4館での取り組みはなかなか難しいですが、今、石鳥谷図書館と花巻図書館の間では花巻図書館の本を石鳥谷図書館に持って行って展示をして貸し出しをするということをやろうという話を進めております。それ以外の図書館は今後検討していきたいと思っております。また、来年度に向けて、企画テーマを決めて花巻図書館にある本、やはり花巻図書館が本の数は多いので、その本にもっと日が当たるようにというか、人の目につくようにということで3館に持ち出して、並べて借りていただけるようにという取り組みを来年度に向けても考えていきたいと思っております。

(○佐藤委員)

ちょっと補足したいんですが、花巻管内は火曜と金曜が配送の日になっていて、例えば私が花巻とか石鳥谷以外で借りた本を土曜日に石鳥谷に返すと、その本は今まではカウンターの下に入っていたんだけど、それを火曜に花巻に戻すまでの間、土曜、日曜とかブックトラックに置いて、これは石鳥谷の本ではないけど、花巻に帰る本だけど、東和に帰る本だけど、大迫に帰る本だけど、皆さんどうぞって置いて、借りられている数がこの数に含まれているっていうことなんです。つまり私が考えるには、誰かに選ばれた本なわけですよ。借りたいと思ったっていうことがね。だからやっぱり利用率も高いと思うので、ちょっと日数を増やすとか、土曜日に返したものだったら火曜じゃなくて金曜に返してくれるとかね。もう少し石鳥谷にある期間をちょっと長くしてもらおうと、ここもちょっと増えるんじゃないかなっていうふうに思いました。以上です。

(○鈴木花巻図書館長)

ありがとうございます。検討させていただきます。

(○坂本会長)

皆さんから出た意見をこのようにすぐ実行していただくのは、とってもいいなと思って嬉しく思いました。ありがとうございます。

それではその他にありませんか。なかったら事務局の方にお返ししたいと思います。よろしく願います。

5 その他

(○菅原委員)

今回第1回目ということでしたが、この2年間の会議開催の回数とかスケジュールがもしこの場で発表ができれば、概略で結構なんですが、頭に入れておきたいと思いますので教えてください。

(○鈴木花巻図書館長)

例年3回開催することになっておりまして、毎年7月、11月、2月に開催しております。

(○菅原委員)

わかりました。

6 閉会 (辻村石鳥谷図書館長)